

2019年度
埼玉県高等学校体育連盟
柔道専門部 顧問総会
資 料



2019年4月24日(水)
14:00~
埼玉県立武道館第1道場

I あいさつ

II 連絡事項

1 異動確認

東部地区	矢島芳夫（幸手桜）←（松伏） 栗田健二（羽生藤特別支援臨）←（羽生臨） 藤井信雄（久喜工業再）←（久喜工業）
西部地区	畔上悟（狭山緑陽再）←（狭山緑陽退職） 町田栄一（退職）←（城北埼玉）
南部地区	村田豊（大宮工業再）←（大宮工業退職） 佐山幸司（上尾鷹台再）←（大宮光陵再）
北部地区	金子英明（退職）←（小川再） 齋藤裕治（深谷商業再）←（熊谷工業再）
御退職者	村田豊（大宮工業） 藤井信雄（久喜工業） 畔上悟（狭山緑陽） 高橋厚裕（新座柳瀬校長）

2 全国高体連柔道専門部委員会から（平成31年3月20日 於 講道館）

（1）報告事項

- ① 鹿児島総体 2019年8月9日～13日 於 鹿児島市「感動は無限大 南部九州総体2019」
兵庫総体 2020年8月5日～9日 於 神戸市
- ② 国際交流
（ア）第12回日本高校柔道選抜チームフランス派遣について→無事終了
（イ）第5回日本高校柔道選抜チーム韓国派遣について→東京地区より選出
（ウ）平成30年度日米高校柔道教師・生徒の国際事業について→受け入れは山口県、派遣中止
- ③ 第42回全国高校柔道選手権：2020.3.21（土）22（日） 群馬県ぐんまアリーナ
- ④ 全国高体連関係
（ア）全国高校総体2校枠→廃止
（イ）全国高校総体参加料値上げ→団体45,000円 個人4,500円
- ⑤ 全日本柔道連盟関係
（ア）柔道普及事業について
（イ）トングランス感染症予防について
（ウ）重大事故対策委員会より→絞技で意識を失った場合の対応について
- ⑥ その他 研究調査部より
（ア）平成31年度編集方針（イ）「柔道」（平成30年度販売実績）について（ウ）会計報告

（2）協議事項

- ① 全国高校総体開会式（アンケート調査報告）について→簡略化を目指すが入場行進は開催県に委ねる。柔道衣コントロールは一斉実施を継続する。
- ② 全国高校柔道選手権大会団体試合出場校数（アンケート調査報告）について→別紙資料
- ③ 予決算について

3 関東高体連関係（平成30年12月1日 於 群馬県）

（1）報告事項

- ① 66回東京大会報告
- ② 関東高体連専門部長・理事会報告
- ③ 全国高体連柔道常任委員会報告
- ④ 会計報告
- ⑤ 大会開催予定 H31群馬・H32神奈川・H33山梨・H34千葉・H35茨城・H36埼玉

（2）協議事項

- ① 67回東京大会について→総体に準じて実施 上記全国委員会（2）協議事項①を参照
主審1人制は導入しない
- ② 女子団体出場枠→67回大会から埼玉7→6 千葉5→6
- ③ 女子の帯については黒帯のみ可
- ④ 68回神奈川大会→2020年5月29日（金）～31日（日）小田原アリーナ

4 埼玉県柔道連盟から

（1）平成31年度審判A・B級ライセンス、日体協公認コーチ、昇段（六、七、八段）

- ① A級ライセンス県柔連推薦者 福田
学科試験：7月6日（土）スポーツ総合センター
実技試験：7月7日（日）埼玉県立武道館（関東ジュニア）
- ② B級ライセンス県柔連推薦者
学科試験：6月2日（土）スポーツ総合センター
実技試験：7月7日（日）埼玉県立武道館（関東ジュニア）

*A・Bともに県柔連審判委員会で各地区のバランスを考え、また女子審判員を積極的に増やすことと、県柔連主催の大会に協力して頂ける方を中心に推薦していく

③ 日体協公認コーチ養成講習会

④ 昇段（六、七、八段）

⑤ 関東地区「審判講習会」について

(2) 行事関係(別紙参照) 県ジュニアについては協議事項

(3) 安全指導について(全柔連)→講習会実施報告義務

(4) 新規登録者優良校表彰(全柔連)

(5) 登録について

(6) その他 武道館身障者駐車場の利用についてのクレーム 服装の乱れについて→協議事項

5 埼玉県高体連から

(1) 個人情報保護法の取扱いについて(パスワード)

(2) 平成31年度専門部予算 審議事項

(3) 県高体連強化事業

① 運動部活動指導者講習会(各専門部上限10万円:昨年曾我部晋也先生)

② 強化連携事業(JISS・NTC職員派遣)

③ 年間強化事業(全国大会に出場可能チームが合同練習・試合を行い年間を通じ強化を図る)

(4)

6 その他

(1) 県ジュニアアスリート事業について

III 協議事項

1 平成31年度役員について

(1) 県高体連役員(案・規定集P28参照)

(2) 大会競技役員及び係(案・規定集P29、30参照)

2 行事予定(規定集P31~33参照)

(1) 県大会関係

(2) 柔道連盟関係

3 平成30年度決算報告(別紙参照)

監査報告:監事(本多先生・宇田先生)

4 平成31年度予算案(別紙参照)

5 審判規定について→服装の乱れについて 県柔連4月より実施

6 大会について(試合時間は選手権予選以外4分)

(1) 関東予選(確認事項) ・女子計量は個人と団体を兼ねることができる

① 出場枠 男子団体8校、女子団体6校、男女個人各階級2名

② 大会日程

1日目 男・女個人(決勝まで)

2日目 男子団体(ベスト32)終了後に女子団体(決勝まで)

3日目 男子団体(決勝まで)

③ 順位決定方法

(ア) 3・4位決定戦を行う

(イ) 男子の5~8位の順位は、抽選によって決める→順位決定戦を行う

(ウ) 女子はベスト4を確定して、ベスト4に進出した学校に負けた学校を対象に敗者復活戦を行い、ベスト8の学校と対戦して勝った学校4校で5・6位決定戦を実施する

④ 男女個人試合のシードについて

(ア) 地区で第1・2シードを推薦

(イ) 男子個人地区推薦選手 計64名 東11 西17 南20 北16

(2) インターハイ予選大会日程(確認事項)

1日目 男・女個人(決勝まで)

2日目 男子団体(ベスト16まで) 専門部主催男女個人試合(詳細はその他で審議)

3日目 男女団体を決勝まで合わせて実施 男女準々決勝・男女準決勝・男女決勝

(3) 県新人戦日程(確認事項)

① 個人試合時間4分。GSあり

② 大会日程 1日目 男子団体(ベスト16まで) 男女個人(決勝まで)

2日目 男女団体を決勝まで合わせて実施 男女準々決勝・男女準決勝・男女決勝

(4) 県選手権大会日程(確認事項)

- ① 試合時間は3分。ただし、男女団体決勝は4分
- ② 大会日程 1日目 男・女個人(決勝まで)
2日目 男女団体を決勝まで合わせて実施 男女準々決勝・男女準決勝・男女決勝

(5) その他

- ① 県ジュニア出場人数について
東西北地区、各階級原則2名 南部4名
ただし、平成30年度全日本Jr、平成30・31年度全日本カデ出場者は別に出場を認める
- ② インターハイ予選において、団体試合に出場しない学校の選手を対象に男女体重無差別の個人試合の大会を実施する
男子はさらに3年生でIH県予選個人に出場していなく、団体試合に出場する学校でも団体試合にエントリーもされていなければ出場できる

IV その他

- (1) 大会運営負担金・全国高体連柔道専門部分担金・研究調査報告書代の徴収について
 - ① 徴収金額は一人500円。(選手権は参加費として一人800円、一つの大会で1回のみ徴収)
全国高体連柔道専門部分担金一校1500円, 全国高体連柔道専門部研究調査報告書代一冊1500円
 - ② 対象の大会：学総体、県新人大会、選手権大会で徴収
 - ③ 対象者：学総体、県新人、選手権の団体試合の正選手及び個人試合出場選手
- (2) 調査用紙も併せて地区大会代表者会議、および大会時に地区委員長へ提出し、各地区で一覧表を作成し県委員長へ提出(エクセルデータ) ・外国人留学生調査
- (3) 柔道専門部歓送迎会 日時インターハイ予選団体初日(6月19日・水)担当(+地区幹事)
- (4) 関東学生審判5月26日(日) 10名依頼、氏名・ライセンス・段位・出身大学
その他、中学校県大会審判 学総7月・新人11月 関東学生体重別
- (5) 関東大会・インターハイ柔道衣はIJF公認赤マーク、帯は赤、青IJF公認マークがあれば可
女子の帯は黒帯白線なし
- (6) 県柔連委員会推薦について
- (7) その他